

一般送配電事業者との意見交換会の 実施結果について

2024年2月8日

電力需給調整力取引所

意見交換会の実施状況

- 2023年8月1日にご案内しました、一般送配電事業者との相互理解等を目的とした意見交換会を10月～12月上旬にかけて、16事業者と計44回（エリア別合計）実施いたしました。
- 申込時のアンケートにおいて、合計68件の質問等が寄せられ、項目別に分類すると、複合商品を含めた入札・約定方法や運用方法、余力活用契約に関する質問が多く寄せられました。いただいたご意見等は、個社事情に配慮したうえで、一部を「[需給調整市場に関するよくあるご質問](#)」に追加いたします。
- 今後の開催については、2024年度の全商品取引開始後の市場状況等をふまえ検討することといたします。

【エリア別申込数】

エリア	申込数※
北海道	5
東北	4
東京	9
中部	5
北陸	2
関西	4
中国	3
四国	4
九州	8
合計	44

【アンケートの項目分類と件数】

項目	件数
余力活用	11
入札・約定方法	7
運用方法	6
商品・要件	6
審査・手続き	6
アセスメント	5
通信回線	5
精算	3
その他	19
合計	68

【意見交換会での確認事項】

項目
<ul style="list-style-type: none"> ・余力活用における蓄電池などの制約や運用、緊急時の判断 ・複合商品の指令方法、発動指令電源との同時指令の場合の対応 ・専用線敷設の工事費の目安や期間、閾値が定格出力10万kWとなった背景 ・2024年度からの供出可能量の見通し ・三次①の効率的調達や調達不足に対する一般送配電事業者の認識 ・アセスメントの不適合の基準

※複数エリア申込も別カウント、取り下げを除く